

令和7年度徳島県がん対策連絡会議 議事概要

1. 日時 令和8年2月4日（水）19：00～20：10
2. 場所 徳島大学病院 日亜ホール White 小 / ZOOM
3. 出席 委員16名中13名が出席
4. 議題 (1) 本県のがん対策の状況について
(2) 第4期徳島県がん対策推進計画の進捗状況について
(3) 厚生労働省におけるがん関連施策の動向について

【概要】

(1) 本県のがん対策の状況について

委員から、がん口コモについて、ホームページ上の情報では、相談方法や対象となる症状などがわかりにくいという指摘があった。今後、ホームページでの掲載方法を見直すとともに、県民への周知については、フォーラムや新聞等で啓発を行っていくとの回答があった。また、がん対策センターの相談窓口で受け付けた相談については、内容によって大学病院や県立中央病院の専門医へつなぐ体制をとっているほか、かかりつけ医と専門医への連携ルートについても強化をしていくとの回答があった。

また、委員から、独居や身寄りのない高齢患者、認知症を併発している患者が増加しており、意思決定支援や生活基盤のサポートが複雑化しているため、臨床倫理コンサルテーションの必要性など、多面的な支援のあり方が提起された。

(2) 第4期徳島県がん対策推進計画の進捗状況について

委員から、研修会やカンファレンスの実施回数だけでなく、実際に医療がスムーズに行われたか、患者満足度が向上したかといった「質的評価」を重視すべきではとの意見が出された。好事例として、県立中央病院で実施されている「骨転移キャンサーボード」のような、システムとして機能している多職種カンファレンスの重要性が共有された。

(3) 厚生労働省におけるがん関連施策の動向について

委員から、高度な治療の集約化は進む一方、県内全域での均てん化は課題であるとの認識が示され、特に県南部・西部などインフラが不十分な地域の患者が医療にアクセスできるよう、交通インフラ整備も含めた地域医療構想の検討が必要との意見が出された。